

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 11/29)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (T-2-1) (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点) ¹			
試料採取日時	2016年11月28日 8時10分		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)		
試料採取日時	2016年11月28日 7時15分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)		試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)
I-131 (約8日)	ND(0.74)	-		ND(0.63)	-
Cs-134 (約2年)	ND(0.78)	-	ND(0.65)	-	
Cs-137 (約30年)	ND(0.59)	-	ND(0.68)	-	

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

¹ 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。(2016年9月16日~)

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 再測定 >

(データ集約 : 11/29)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (T-2-1) (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点) ¹		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	2016年11月7日 7時55分		2016年11月7日 6時58分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.010	0.00	0.013	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.058	0.00	0.083	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関：(財)九州環境管理協会

1 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 20km圏内 >

(データ集約 : 11/29)

採取場所	請戸港南側(T-6) (5,6号機放水口から北側に約5.5km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	2016年11月8日 9時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0068	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.040	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関: 東京パワーテクノロジー(株)

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第二原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 11/29)

採取場所	福島第二 北放水口付近 (T-3) (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		福島第二 岩沢海岸付近 (T-4) (1,2号機放水口から南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	2016年11月8日 12時00分		2016年11月8日 16時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0064	0.00	0.0056	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.037	0.00	0.029	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関: 東京パワーテクノロジー(株)

福島第一 港湾内 海水核種分析結果 < 再測定 >

(データ集約 : 11/29)

採取場所	福島第一 港湾口		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	2016年11月7日 8時01分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.034	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.19	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

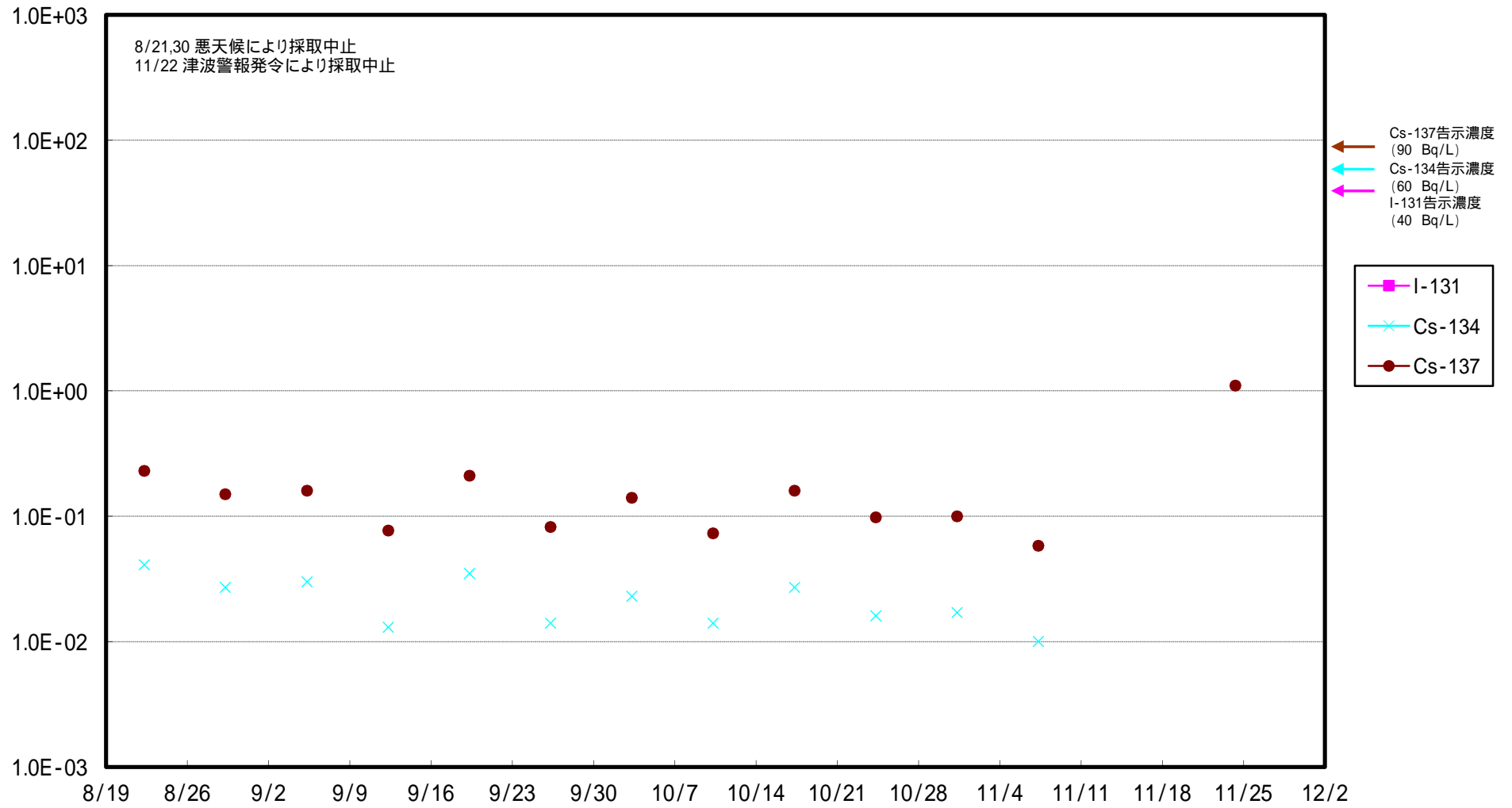
二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

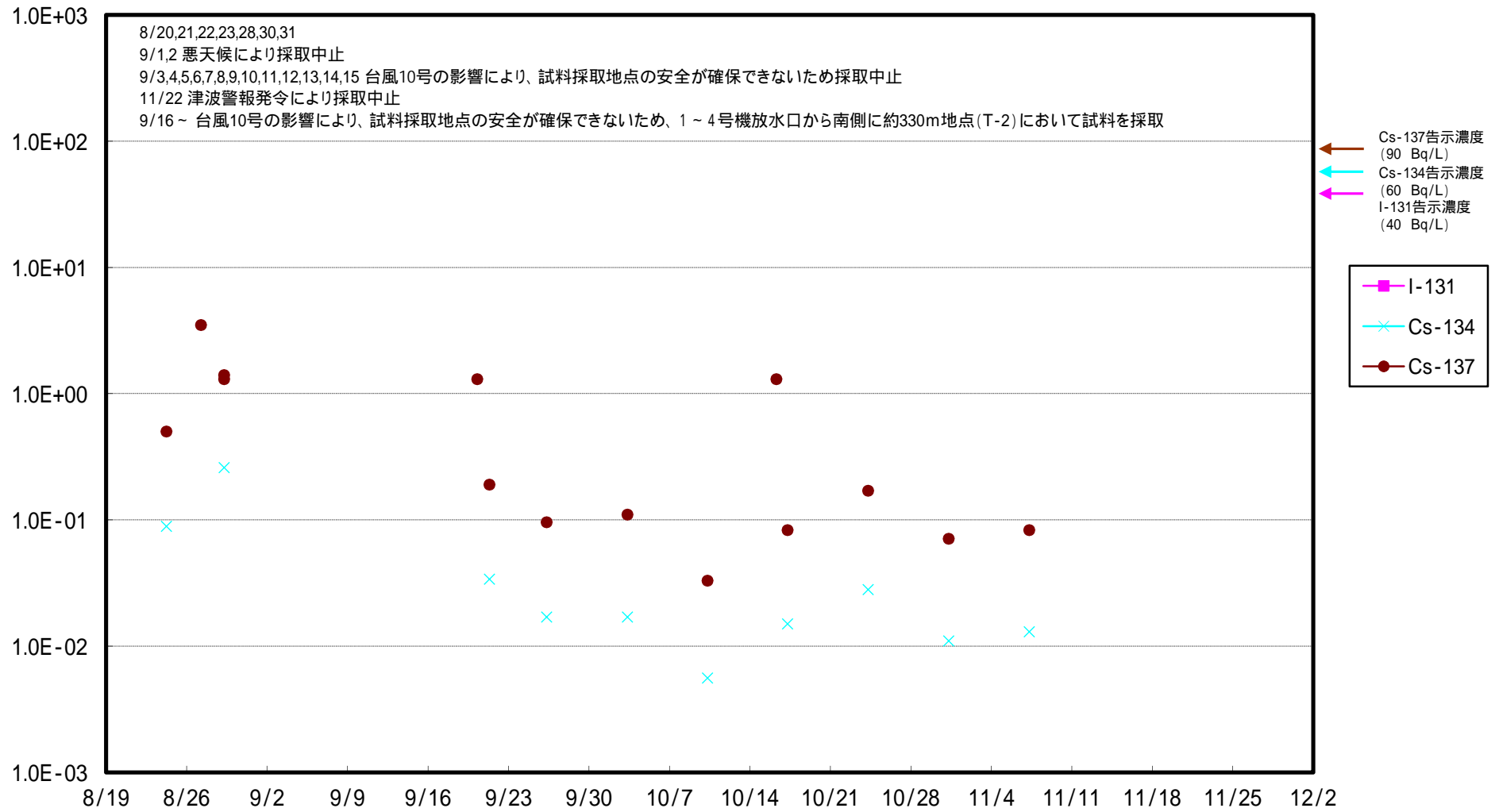
詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関:(財)九州環境管理協会

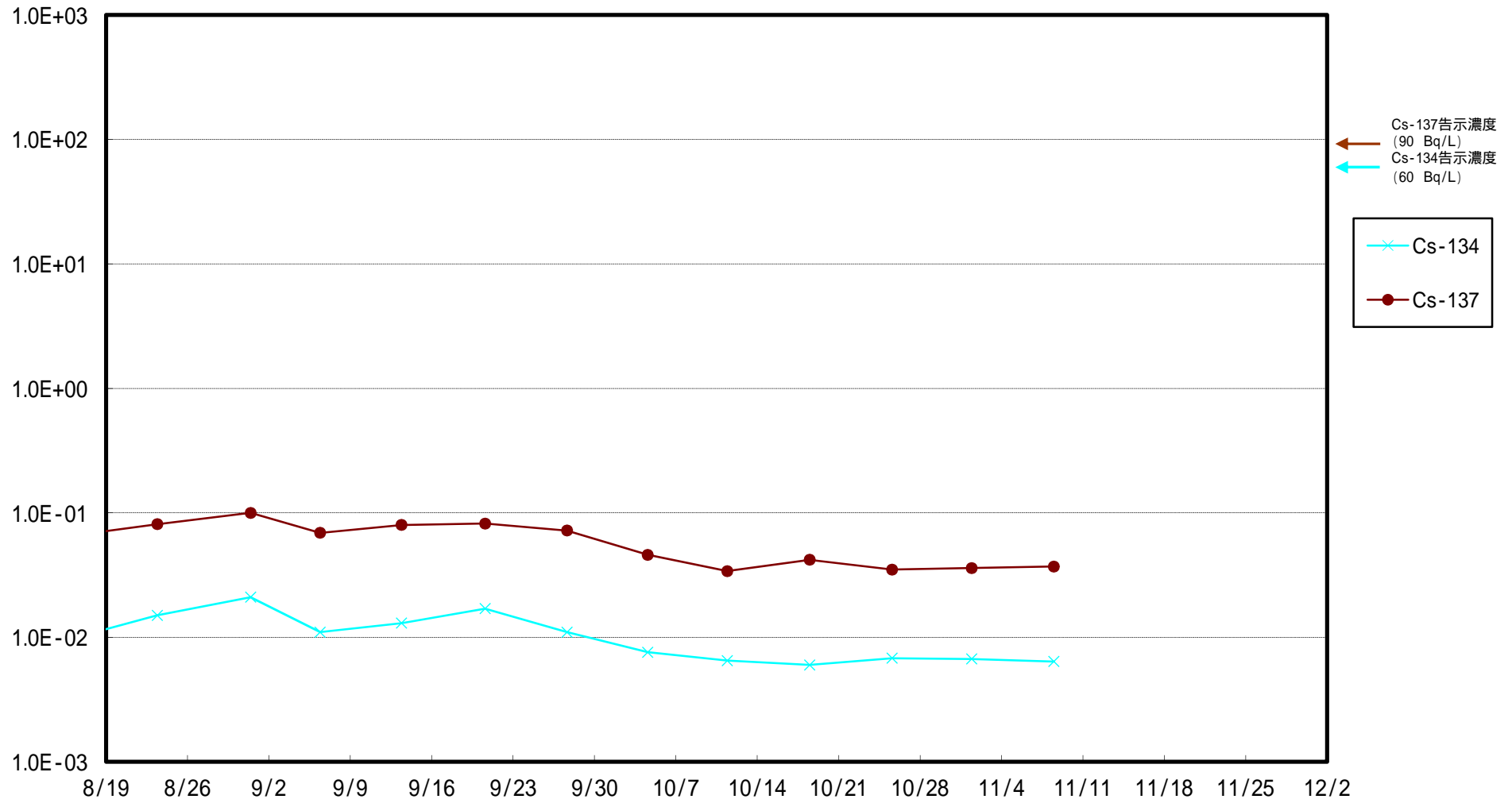
福島第一 5,6号機放水口北側(T-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)



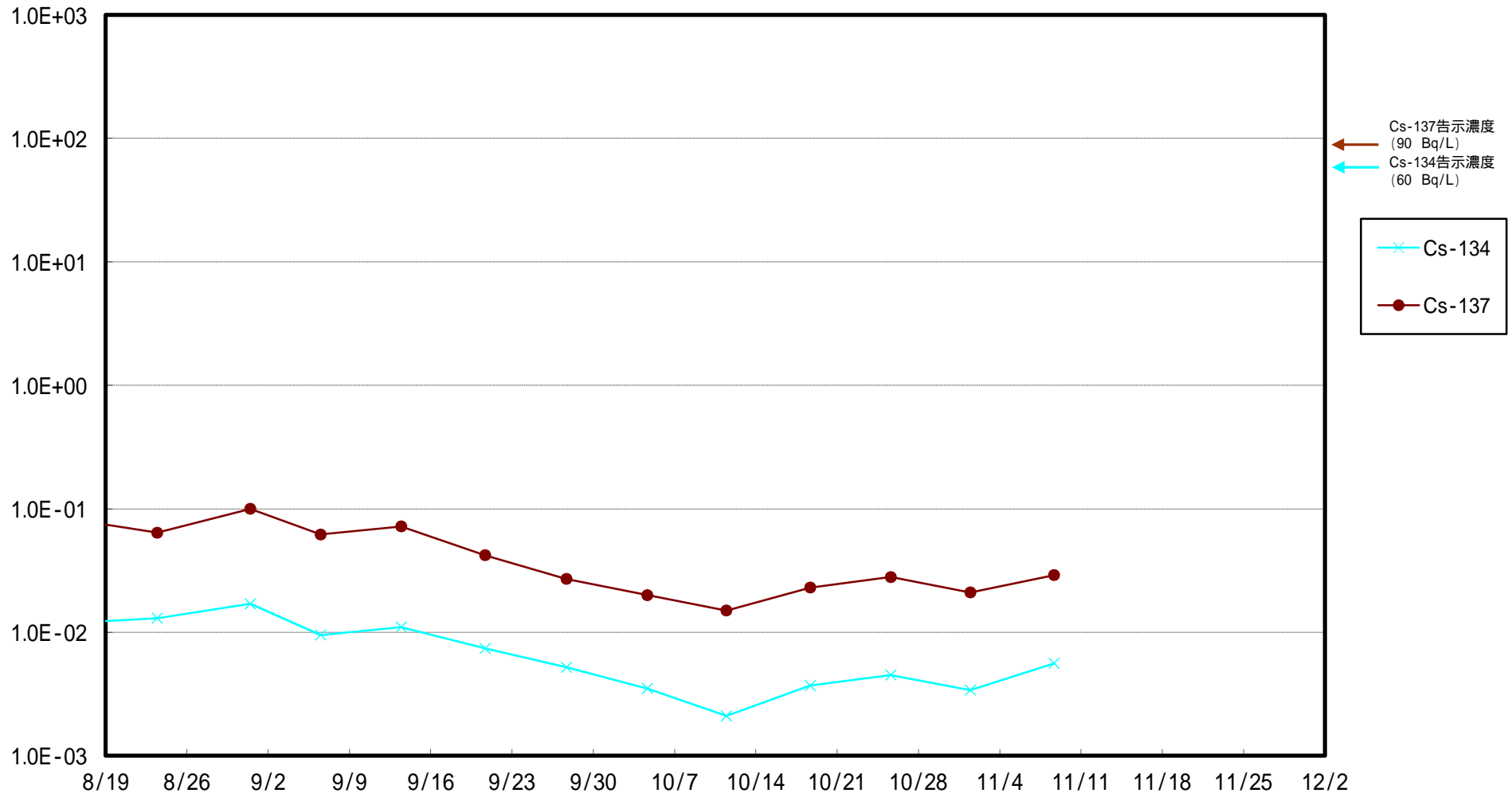
福島第一 南放水口付近(T-2-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 北放水口付近(T-3) 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 岩沢海岸付近(T-4) 海水放射能濃度 (Bq / L)



請戶港南側(T-6) 海水放射能濃度 (Bq / L)

